

10月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	枚方大橋付近～三川合流点付近（大阪府・京都府境界） （左岸25.8km～34.6km）		
モニター実施日時	令和元年10月28日（月） 17時30分頃～18時頃		
天 候	晴れ		

（見出し）

今月は、牧野橋付近（穂谷川合流地点）（左岸30.3km）～三川合流点付近（左岸34.6km）の4.3kmについてモニターしました。

利用者のゴミの投棄（3箇所）について報告します。

先月までは半袖でモニターを行えたのですが、最近は朝夕の寒さが一気に増してきました。モニター当日は夕方ということもあり上着を着込む人の姿が多かったです。

川沿いにはススキが高く伸びており、「秋」の季節感そのものでした。まだモニター4カ月目ですが、淀川沿いはこんなにも季節の移り変わりや自然の変化を感じ取れる場所なのですね。これはモニターしてみないと分からないことでした。



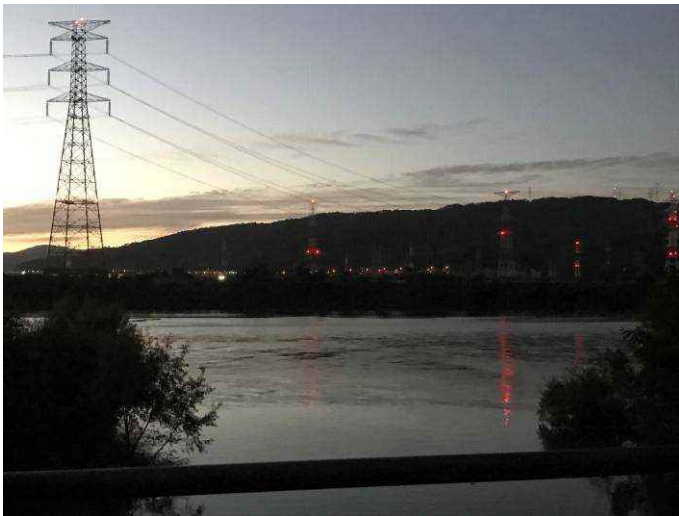
図：ススキの生える川沿い

これも今までは知らなかったことなのですが、対岸との間でこんなにも多くの送電線が巡らされているのですね。滋賀県・京都府と通って大阪府の暮らしの中心にこの淀川があることを改めて実感します。自動車ですら周囲を通る際は気なく見ている淀川ですが、周囲を歩くとその雄大さに驚かされます。



図：張り巡らされた送電線

川をじっと見つめていると、気のせいだとは思いますが昼間にモニターした時よりも流速が早く感じられました。先日の台風19号通過時は遠くから見ているだけで恐ろしさを感じるくらい勢いが増していました。天候や水量の変化によるものだけではなく、見る者の状況によって本当に違う顔を見せるのだなと感じました。



図：速さを感じる川の水面

ところどころ工事が行われている様子がありました。8月のレポートでご回答いただいた「非出水期」に入った為、各種工事が始まったのですね。勉強になります。



図：工事用車両走行中の看板

ゴミの投棄は気づいただけで3件ありました。プラスチックカップ、ペットボトル、ビニール袋等です。草むらに隠すように捨てたところで自然に消えてなくなるわけではないことを一人一人が意識する必要がありますね。



図：投棄されたゴミの数々

10月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

10月分のレポート有り難うございました。

モニターしていただいたように淀川沿いは季節の移り変わりや自然の変化を感じ取れる貴重な場所だと私も思っています。

モニターの区間ではありませんが、下流の大阪市域では淀川の河川敷に広がる一面のヨシ原やすすきの原の自然の風景と、その向こうに林立する高層ビル群の都会の風景とがアンバランスで不思議な光景をつくりだしています。

発電所で生み出された電気は、様々な経路を経て各家庭、工場や企業へと送られます、淀川にかかる送電線もその一つです。

枚方出張所管内だけでも11箇所です。対岸との間で送電線が巡らされていて私たちの生活を支えています。

夜の川って何か少しこわい感じがしませんか。

やはり自然界の持つ力を昼間よりも強く感じるためではないでしょうか。

流れが早く感じられるのはこのためでは？

それでは11月のレポートをお待ちしております。